

もう一つの天草くずれ：天草キリスト教史序説（補論）

鶴島博和*

本紙第18号で『大江村宗門心得違之者吟味日記』（以下『大江村吟味日記』¹）から構築した鶴島のデータベースを用いて、天草くずれで摘発されたキリシタンの同定を行ったさい、229頁註59で以下のように書いた。「[231] 弥平：下組：洗礼名ベトロである。5月16日に呼び出しを受けている。データベースは、「天草くずれ」に関する全村落を網羅したものを、公開したいと考えている。ここでは整理番号を〔 〕内で表記する。」本論は大江組の分の公開である。尚、その後のデータ整理や確認で誤りが発見された。弥平 [231] は5月の23日に呼び出しを受けている。以下適宜修正を行なった。

天草の「心得違い」の者に対する吟味は、文化2年（1805年）3月11日に始まった。吟味方は、最初は頭立ち百姓などの村の指導的キリシタンを通じて自発的な告白を求め、事を穏便に済ませようとした。以下大江村の例で話を進める。この吟味に対して、村方の警戒心は強く、調査は進まなかった。業を煮やした奉行川鍋次郎左衛門は、5月から富岡へ呼びだしての直接吟味を開始した。大江組では、5月2日からまずは村の指導者から始まり5月26日まで、コンフリリアである上と下の組、迫、塚を中心に祈りの細胞をなしていた本百姓一小前一名子のグループが富岡の代官所に呼び出された。彼らは船あるいは徒歩で富岡に出向き、必要であれば宿に泊まって滞留して吟味を受けた。事の詳細は、上田家文書の『大江村吟味日記』で

明らかになる。本論では九州大学が翻刻したもののコピーを使用した。

問題はこの史料〔歴史分析に使用した資料（マテリアル）〕の位置づけである。「天草くずれ」では吟味の性格上、数多くの資料が作成された。しかし、その位置づけは明らかではない。具体的に言うと、どれがオリジナルで、どれがコピーあるいはコピーのコピーなのか、その作成者と目的は何か、などが明らかにされてはいない。私の言葉で言えば、「史料の生涯」あるいは「履歴書」が作成されないうちに議論が進められてきたのである。これでは人文科学的な意味での検証は難しい。

では、『大江村吟味日記』は吟味史料群のなかでどの位置にあるのだろうか。これは富岡吟味のオリジナルな資料ではない。まずは後日に関する書き込みが散見される。例えば、上組の孫七 [151] は、5月19日の吟味の個所に後の「5月23日」に参ると記されている。さらに5月26日の吟味が終わった後に、5月23日から25日の分が書き足されている。さらに和平 [300] の後に高浜村分の記載が挿入されている。そして資料は一人の手で書かれており、明らかにある目的のために奉行所側が作成したものと判断できる。その目的は、二つの点で明らかになる。一つは、「吟味に参らなかつた者」についての詳細な書付が数多くみられることである。そしてもう一つは、上組の佐吉 [192] 洗礼名寿庵の下りにある「是ハ長左衛門申上候となへなり余人者相違二付、夏二記者也」である。後者は、佐吉の祈り言葉が長左衛門などのものと違うために、「夏」に記すというのである。

*熊本大学・名誉教授

富岡の吟味に遺漏の多いために、奉行所は現地での吟味を決断した。『上田宣珍日記』には「(文化二年の)七月二十八日、お奉行様のご一行は大江村に出立された。…お奉行川鍋次郎左衛門様、お役人谷川岩右衛門様、原龍左衛門様、お代官内田時兵衛様、御物書荒木甫七様、…その他都合十三人 右の方がたは暮れ六つ(午後六時頃)に到着された(現代文筆者)」。奉行たちは大江村を拠点に現地での村方吟味を行った。8月14日に今富村へ向かい、17日(〔お奉行様ご一行13名は〕今富村より根引〔峠〕を超えて)昼頃に高浜村に到着した。ここで、最終的な取りまとめが行われた。崎津村庄屋吉田宇治之助や村年寄が「帳面引合」に訪れ伊賀屋に下宿している。18日は大庄屋が上組の太吉〔5〕と恒兵衛〔32〕と共に大江村での現地の追加調査分をもって、「帳面引合」に夜に入って高浜に到着し伊賀屋に下宿している。奉行一行は翌8月19日に富岡へ帰陣しているので、最終的な報告書(下書き)は高浜の上田宣珍を中心に作成され奉行所に提出されたのであろう²。

『大江村吟味日記』は、この村方吟味で使われた富岡役所での吟味を控えた作業書で、書記の荒木甫七が作成したものであろう。それを報告書(下書き)作成のために高浜に置いたと推測される。これが『大江村吟味日記』が高浜の上田家文書に残った理由である。大庄屋は地方(じかた)で行った聞き取りの資料を「帳面引合」に持ち寄った。その原本あるいは扣が「白札付書上帳」³であろう。また、松浦家文書には今富での聞き取りの資料が残っているらしいので、機会を改めて検討したい⁴。

注

1 上田家文書目録番号3356.

2 『上田宣珍日記 文化二年』.

3 鶴島博和・児島康子(翻刻・現代語訳)「文化二年 白札付書上帳 丑八月 大江村」『潮騒』37, pp. 20-31.

4 児島康子「天草郡大江組大庄屋「松浦家文書」に

みる潜伏キリシタンの信仰』『人間文化研究』第21(2023年3月).

「一 今富村宗門心得違内調日記帳一冊 一 大江村同吟味日記帳一冊 〆式冊 今富友三郎方へ返進」『上田宣珍日記文化二年』 閏八月六日の意味するところも検討したい。

*本論作成には児島康子氏の協力を仰いだ。記して謝意を表する。

表 データベース 大江村宗門心得違之者御吟味日記

凡例

【大江村吟味日記】に記載された心得違いの者を時系列に列挙した。洗礼名が明記されない場合は、名字がないため、重複している場合がありうるがそれぞれに番号をふつた。上組下組は史料上に明記されている以外、同時の呼び出しなどを参考に、同時に番号をつけていて、必ずしも正確でないものもある。○1などの番号は史料の記載順である。データベースの作成中の追加分に関しては文蔵洗礼名へところ[220a]ようにaをつけた。オラシヨは別の機会に検討すべき課題であるが、史料の流れにそって重要と思われるもののみいくつか関係箇所て指示した。同一日に複数のグループが呼び出されて、それを区別するために○△▽□などの記号を使用した。

No	組	迫	名前	←大江村吟味	→	←富岡本吟味	→
1	上	野中?	海老名異仙徳考等	311-324-401-408-419	○	430-502-503-504-506-507a-507b-507c-508a-508b-508c-509a-509b-511a-511b-512-514-515-516-517-519-520a-520b-521-522-523a-523b-524a-524b-525a-525b-526a-526b	526b
2	上	西	市蔵	○		○10 願(乃)五(引)7(神)七(上)給(乃)カ(カ)・(神)聞	
3	上	里	小前舟庵		○	○14	○4
4	上	屋之内	新等兵衛代 大出重吉進出	○		×7不参18の小前	
5	上	尾之内	右之若狭七郎重建出	○	○1	○	○9
6	上	太吉	左之藤五郎三郎出	○	○2	○5	○4
7	上	甲	作之本斎兼女仏具や	○	○2	○2	○2
8	上	藤崎	兼女仏具や大丸藏	○			△12
9	下	桑嶋	伊八	○	○2	○2	○
10	下	西	山下家四代	○	○	○	
11	下	浜里	松右衛門	○	○10	○1	○
12	上	浜里	伊左衛門あるす	○	○	○	
13	上	庄吉	舟庵	○			○
14	上	忠作	香寸鉄之金仏	○			○
15	上	寓内	クハルタ	○			○2
16	下	忠右衛門	セツタキムトボトロ	○	○4		
17	下	伊保松	藤原 藤助・ラカト	○			○5
18	下	浜	サンタマル義仏	○	○5	○6	○1
19	下	浜	舟庵 藤原 藤助 義仏	○	○6	○8	○
20	上	源作舟庵	丸鏡佛	○	○7		○9
21	上	尾之内	又作	○			○5
22	上	尾之内	嘉吉へところ	○	○13	○7	○
23	上	源之丞	源之丞舟庵	○	○12	○5	○
24	上	新之助	へところ	○	○13	○7	○
25	上	尾之内	小丸鏡仏	○	○1	○3	○
26	上	尾之内	甲兵衛	○			○16 若人屋
27	上	尾之上	吉郎右衛門	○	○4	29の	○2
28	上	相四郎	与左衛門	○	○3	○3	○8
29	上	長左衛門	五右衛門	○	○		○3
30	上	長左衛門	セツタ舟庵成ノ金仏	○	○3	○3	○3
31	上	浅平	兼住 藤原 藤助	○	○		○3
32	上	相兵衛	セツタ義仏	○	○1		○1
33	上	相蔵	丸鏡仏	○			○3
34	上	尾之内	福蔵	○	○		○3
35	下	太朗	小前(乃)平舟庵藤助	○	○		○3
36	下	長蔵	藤原(藤原)藤助	○	○4	○2	○4
37	下	伊三右衛門	へところ	○	○1	○5	○6
38	下	祐(男)吉	あます	○	○3	○2	○6
39	下	よし		○	○5	○7	
40	下	桑つる	小前	○	○9	18の	○3
41	下	伴助	舟庵	○	○5		○
42	上	清作	舟庵 227下組 351	○	○		○1
43	上	萬蔵	舟庵	○	○3		○3
44	上	舟庵	舟庵	○			○2
45	上	舟七	久右衛門	○			○2
46	上	源蔵	舟庵	○			○3
47	上	三之丞	舟庵	○			○4
48	上	御兵衛	舟庵	○			○5
49	上	くわつた	くわつた	○			○5
50a	上			○			○3

No.	組	迫	名前	源社名親胤備考等 西田家第四代	← 大江村吟味 → 311 324 401 408 419 430 502 503 504 506 507a 507b 507c 508a 508b 508c 509a 509b 511a 511b 512 514 515 516 517 519 520a 520b 521 522 523a 523b 524a 524b 525a 525b 526a 526b	→ 526c
52	下	西	角藏	源社名親胤備考等 西田家第四代	○ 〇11 石之者次十一日御出陣 〇20 〇21 〇22 〇23 〇24 〇25 〇26 〇27 〇28 〇29 〇30 〇31 〇32 〇33 〇34 〇35 〇36 〇37 〇38 〇39 〇40 〇41 〇42 〇43 〇44 〇45 〇46 〇47 〇48 〇49 〇50 〇51 〇52 〇53 〇54 〇55 〇56 〇57 〇58 〇59 〇60 〇61 〇62 〇63 〇64 〇65 〇66 〇67 〇68 〇69 〇70 〇71 〇72 〇73 〇74 〇75 〇76 〇77 〇78 〇79 〇80 〇81 〇82 〇83 〇84 〇85 〇86 〇87 〇88 〇89 〇90 〇91 〇92 〇93 〇94 〇95 〇96 〇97 〇98 〇99 〇100 〇101 〇102 〇103 〇104 〇105 〇106	→
53	下		喜八			
54	下	浜里	喜次郎			
55	上		清吉			
55a	下		清吉			
56	下		和光次	5月15日の輝出し病欠		
57	下		恒藏			
58	下		林吉			
59	下		吉藏			
60	下		長作			
61	下		作兵衛			
62	下		岩吉			
63	下		岩吉			
64	下		五郎兵衛			
65	下		李右衛門			
66	下	桑島	喜藏めん長			
67	下		又右衛門			
68	下		弥五平			
69	上		忠助			
70	上		文藏			
71	上	野中	久藏			
72	上		久右衛門			
73	上		恒作			
74	下		嘉次平			
75	下		兼助			
76	下		九郎兵衛			
77	下		智藏			
78	下		本左衛門			
79	下		李左衛門			
80	下		喜左衛門			
81	下		寛之丞			
82	下	横浜	兼藏			
83	下		藤吉			
84	下	唐崎	藤吉			
85	上		慶吉			
86	上		源助(2)			
87	上		弥吉			
88	上		彌左衛門			
89	上		丸藏			
90	上		茂吉			
91	上		和吉			
92	上		和吉			
93	上		和吉			
94	上		卯作			
95	上		若藏			
96	上		惣右衛門			
97	上		友平			
98	上		清兵衛			
99	上		采助			
100	上		勝兵衛			
101	上		菊藏			
102	上		佐右衛門			
103	下	唐崎	久右衛門			
104	下	唐崎	太次右衛門			
105	下	唐崎	嘉吉			
106	下	唐崎	友藏			

No	組	迫	名前	姓名その外見備考等 （戸籍にない別姓）	← 大江村吟味 →	← 平岡本吟味 →	→
107	下	唐崎	政入				
108	上	野中	次右衛門	すつた丸刺			
109	上	野中	茂平	おんあゝるじ丸刺			
110	上	尾ノ河内	ふじ	くまざねのむらたの丸刺	右之通 冠平氏引子(結城二出、重村氏引子、重村氏引子、重村氏引子、重村氏引子)		
111	上		甚兵衛	寿庵			
112			浦右衛門				
113			浦右衛門妻				
114	下		明太郎				
115	上		茂助	森口茂助の家系か			
116	上		嘉蔵	寿庵			
117	上		助藏	寿庵			
118	上		福兵衛	寿庵			
119	上		佐七	寿庵			
120	上		友助	寿庵			
121	上		佐平				
122	上		嘉兵衛				
123	上		常蔵	174,275,384,327,380			
124	上		藤右衛門				
125	上		藤兵衛	125,285,329			
126	上		定藏				
127	上		精次郎				
128	上		佐助				
129	上		勘作				
130	上		長右衛門				
131	上		与右衛門				
132	上		忠吉				
133	上		久右衛門				
134	上		垣右衛門				
135	上		壽七				
136	上		常左衛門				
137	上		為右衛門				
138	上		松平				
139	下		林蔵				
140	下		藤蔵				
141	上		七郎八				
142	上		豊吉				
143	上		九右衛門				
144	上		太助				
145	上		長平				
146	上		清吉				
147	上		徳之丞				
148	上		兼作				
149	上		傳蔵	寿庵 297,287,女房			
150	上		廣吉	寿庵			
151	上		孫七	323			
152	上		伊藤五郎				
153	上		善吉				
154	上		小吉				
155	上		恒七				
156	下		助右衛門				
157	下		萬助	へとろ			
158	下		太助				
159	下		和七				
160	下		又兵衛	293,335			
161	下		鎮蔵	293			
162	下		伊茂作	あるじ			
163	下		庄作	寿庵			
164	下		与左衛門	コンクリキ?			
165	下		善右衛門	いなし			

No.	組	迫	名前	流社名異風備考等	← 大江村吟味 →	← 軍國本吟味 →	→
166	下		文蔵	流社名異風備考等	311 324 401 408 419	311 324 401 408 419	→
167	下		藤作	へふとろ	430 502 503 504 506 507a 507b 507c 508a 508b 508c 509a 509b 511a 511b 512 514 515 516 517 519 520a 520b 521 522 523a 523b 524a 524b 525a 525b 526a 526b	▼11 ○	526b
168	下		小次郎	へふとろ[stc]			○11
169	下		友左衛門	へふとろ			▼13 ○11
170	下		友左衛門	へふとろ			▼14 ○7
171	下		忠左衛門	へふとろ			▼15 ○8
172	下		備左衛門	寿庵			▼16 ○15
173	下		徳兵衛	50と別人?			▼17 ○16
174	下		常蔵	123と別人?	五月十五日 此芸者老人廿一日二召出候様	五月十五日 此芸者老人廿一日二召出候様	▼19
175	上		長左衛門	寿庵			○3 △此 △式とふめく
176	上		万吉				○5
177	上		松左衛門				○6
178	上	西	藤右衛門	岩本家第三代	此五人さんとふめく斗力存居申候	此五人さんとふめく斗力存居申候	○7 ▲此五人 ▲さんとふめく斗力存居申候
179	上		九郎右衛門				○8
180	上		長七	寿庵			○9 1
181	上		熊右衛門	寿庵			○10 △2
182	上		熊右衛門		五月廿四日申上候 清吉、小吉、長左衛門、藤右衛門、九郎右衛門、長七、兼右衛門、重右衛門、助藏、右之進、十九日二召出候。翌日御申出候。口附左二記、且二解気不参之もの左二記		○11 ▲4
183	上		松兵衛				○12 老人
184	上		定吉				○13 殊夕全候不候
185	上		吹助	287, 325			○14 榎 (はこり)
186	上		鶴藏	nos. 186, 288, 331			○15 鶴藏
187	上		備右衛門	286			○17 芸者ヨリ纏納
188	上		清兵衛	99と別人?			○18 三年召解
189	上		長吉	209, 289, 314			○19 二年召解
190	上		長助	寿庵	此者不参メ八人	此者不参メ八人	此者不参メ八人
191	上		松右衛門	めんてう10と別人?	此三人はつとまふかの預居候	此三人はつとまふかの預居候	此三人はつとまふかの預居候
192	上		佐吉	寿庵			●2
193	上		九郎左衛門	寿庵			▲3
194	下		賢蔵	付置候時御申上候 士女流儀、流	大詰半井氏御申上之者、左之通申候様、九郎右衛門工之通申候		○1 大詰半井
195	下		勘助	303			○2
196	下		毛助	304			○3
197	下		徳平	362			○4
198	下		勘七	258, 301, 359			○5
199	下		善助	308			○6 解気不参
200	下		友兵衛	解気不参			○7
201	下		栄蔵	305			○8 解気不参
202	下		忠吉	309			○9
203	下		陣吉	310			○10 解気不参 五月廿三日参
204	下		金助	310			○11 解気不参 五月廿三日参
205	下		新七				○12
206	下		申助				○13
207	下		平三郎				○14
208	下		喜蔵				○15
209	下		長吉				○16
210	下		傳左衛門	313			○17
211	下		善作				○18 五月廿三日参候
212	下		吉松				○19
213	下		栄蔵				○20 五月廿三日参候
214	下		長七	解気不参			○21
215	下		喜蔵				○22 行遊人
216	下		与八	寿庵	五月廿一日御申上之もの知取置	五月廿一日御申上之もの知取置	○23
217	上		善助	寿庵			○24 解気不参
218	下?		万助	へふとろ			○25 右者御殿廿一日時味方成出之御無難出候様候可成申候
219	下?		与三右衛門	いなし			○4
220	下?		和作	へふとろ	五月廿二日御呼出之者	五月廿二日御呼出之者	○2
220a	下?		文蔵	へふとろ			○3
221	下?		勘作	へふとろ			○4
221	下?						▼12

No. 組	迫	名前	遊社名異名備考等 / 邦産	← 大江村吟味 →	← 軍師本内味 →	→
222 下?		榊左衛門		311 324 401 408 419	507a 507b 507c 508a 508b 508c 509a 509b 511a 511b 512 514 515 516 517 519 520a 520b 521 522 523a 523b 524a 524b 525a 525b 526a 526b	526b
223 下?		脚作	へまの脚作(脚作)上履気味 見替履		014	
224 下		伴七			013	
225 下		伴七女房		五月廿三日御呼出下組	1 下組 (●)	
226 下		久之丞	行違人		1a	
227 下		浦兵衛	98じわん		2	
228 下		伴藏	43 21 上組か?		3	
229 下		次平	へまの次, 317, 348		4	
230 下		榊左衛門	363		5	
231 下		弥平	30, 230, 271, 355, 375		6	
232 下		佐十	360		7	
233 下		和乎	脚作 脚呼(脚呼)し 箱 88 箱		8	
234 下		松太郎			9	
235 下		長吉	91 寿庵, 255, 352 せじろ		10	
236 下		内作			11	
237 下		兼作	148		12	
238 下		久米助	364		13	
239 下		吉藏			14	
240 下		儀平			15	
241 下		勝太郎			16 行違人	
242 下		七兵衛	358		17	
243 下		七兵衛女房	298, 370 女房		18	
244 下		儀兵衛	まるる 370 女房出		19	
245 下?		源三郎	へまの源 356		19a ●	
246 下?		友助	344 寿庵		20	
247 下?		長右衛門		廿四日御呼出	↗ 廿式人	
248 下?		長七	130?		● 廿式人 (佐藤藤く)	
249 下?		佐平太	180 寿庵, 214, 338		● 廿四日御呼出	
250 下?		彦藏	339 べまろ		● 2	
251 下?		伊藏	340 寿庵		● 4	
252 下?	唐崎	友藏	106 てうす		● 5	
253 下?		市太郎		*ここから右田呼出は付たのは下組と推定できる。	● 6	
254 下?		健次之丞			● 7	
255 下?		定助			● 8	
256 下?		脚吉			● 9	
257 下?		五平			● 10	
258 下?		勘七			● 11	
259 下?		左八			● 12	
260 下?		彦之丞	22 上, 345		● 13	
261 下?		三之助			● 14	
262 下?		定藏	126?		● 15	
263 下?		乙八			● 16	
264 下?		由五郎			● 17	
265 下?		文藏	70?, 166, 220a, 255, 341		● 18	
266 下?		武藏			● 19	
267 下?		和助			● 20	
268 下?		亦助		廿五日御呼出	↗ 廿七人	
269 下?		為吉	93		● 廿七人	
270 下?		額七	319		● 1	
271 下?		榊左衛門	30, 230		● 2	
272 下?		友七	372		● 3	
273 下?		忠平	373		● 4	
274 下?		万五郎			● 5	
275 下		常藏	123, 174, 284, 327, 378		● 6	
276 下		伊八	8		● 7	
277 下?	下鶴	喜助			● 8	
					● 9	
					● 10	
					● 11	

No. 組	追	名前	浪名名異風備考等	← 大江村吟味 →	← 平岡本内味 →	→
278 下?				311 324 401 408 419	507a 507b 507c 508a 508b 508c 509a 509b 511a 511b 512 514 515 516 517 519 520a 520b 521 522 523a 523b 524a 524b 525a 525b 526a 526b	526b
279 下?	惣吉					●2
280 下?	茂平次					●3
	七藏					●4
281 下?	宇右衛門					●5
282 下?	平三郎		207?		ノ拾七人 総計16人	●6ノ拾七 廿六?人
283 上	虎藏		90病氣再脱出し	廿六日御呼出上組		○1廿五御呼出
284 上	常藏		123病氣再脱出し			○2
285 上	藤兵衛		12病氣再脱出し			○3
286 上	勘右衛門		18病氣再脱出し			○4
287 上	弥助		183おこり再脱出し			○5
288 上	幾藏		188病氣再脱出し			○6
289 上	長吉		189			○7
290 上	弥吉		87, 290, 324			○8
291 上	弥七					○9
292 上 10	甚助			ノ拾八右之者共是病氣不參候者使急候者ハ差出候様	右之者共是病氣不參候者使急候者ハ差出候様	○10ノ拾八
293 下 1	又兵衛		160, 335	廿六日御呼出下組	右之者共病氣不參候者使急候者ハ差出候様、以上	●1下組
293 下 2	鉄藏		161病氣不參			●2
295 下 3	長作		60			●3
296 下 4	清右衛門女房		112, 113			●4
297 下 5	傳藏		297, 367女房			●5
298 下 6	七兵衛		242			●6
299 下 7	米左衛門					●7
300 下 8	和乎		233	ノ拾八人 この隊に晴津村工御口連事ヲ高濱村工御口連事ヲ之候		●ノ拾八人
	崎津村工御口連書身					
	高濱村工御口連書					
1	高浜村白木河内	白木河内				
2	高浜村白木河内	兵左衛門				
3	高浜村白木河内	安藏				
4	高浜村白木河内	喜代作				
5	高浜村白木河内	儀藏				
6	高浜村白木河内	喜三兵衛				
7	高浜村白木河内	市平				
8	高浜村白木河内	作平				
9	高浜村白木河内	重左衛門				
10	高浜村白木河内	庄作				
11	高浜村白木河内	清兵衛				
12	高浜村白木河内	弥吉				
13	高浜村白木河内	弥平				
14	高浜村白木河内	折平				
15	高浜村白木河内	九郎吉				
16	高浜村白木河内	五郎				
17	高浜村白木河内	友作				
18	高浜村白木河内	兵助				
19	高浜村白木河内	弥助				
20	高浜村西平	仁左衛門				
21	高浜村松平	和四郎				
22	高浜村上河内	重助				
	大江村工御口連書之通					
301 下 1	勘七		寿庵198	五月廿三日御呼出		●五月廿三日御呼出
302 下 2	勘平		寿庵197			●2
303 下 3	周助		寿庵195			●3
304 下 4	名助		寿庵196			●4
305 下 5	平藏		寿庵201			●5
306 下 6	磯吉		寿庵	此六御呼出之候様、外之儀ハ一部御呼出之候様、以上		●6
307 下? 1	嘉藏		寿庵110?	五月廿三日御呼出		○五月廿三日御呼出
308 下 2	八藏		寿庵199			○2
309 下 3	傳吉		寿庵203			○3

No.	組	迫	名前	流転名見附備考等	← 大江村吟味 →	← 塚岡本内味 →	→
310	下 4		金助	存庵 204	311 324 401 408 419 430 502 503 504 506 507a 507b 507c 508a 508b 508c 509a 509b 511a 511b 512 514 515 516 517 519 520a 520b 521 522 523a 523b 524a 524b 525a 525b 526a 526b		526b
311	下 5		吉藏	存庵 59, 239			○4
312	下 6		市助	存庵 206	此六人外之權ハ一向存本申候 里でうすさまエあんめんじんすと奉		○5
313	下 1		善作	存庵 211	五月廿三日御呼出		○6
314	下 2		長吉	189, 209, 289			▲2
315	下 3		嘉蔵	雨多んす 209, 215			▲3
316	下 4		宗蔵	213			▲4
317	下 5		熊蔵	へとろ 213			▲5
318	下 6		平三郎	存庵 207, 282			▲6
319	下 7		賢七	へとろ 270			▲7
320	上 1		大助	べとろ	五月廿四日御呼出 上組		○1 五月廿四日御呼出 上組 (○)
321	上 2		与四兵衛	存庵			○2
322	上 1		宿松	存庵	此六(七?)人之もの共でうすさまエあんめんじんすと奉る		●1
323	上 2		縁七	べとろ 151			●2
324	上 3		亦吉	存庵 87, 290			●3
325	上 4		弥助	存庵 185, 287			●4
326	上 5		定藏	存庵 139, 292下 293上?			●5
327	上 6		常蔵	存庵 123, 174, 275, 284			●6
328	上 7		忠右衛門	存庵 16?	此五(七?)人とうめ		●7
329	上 1		藤兵衛	存庵 125, 285			1 △1
330	上 2		清兵衛	存庵 98, 188, 226			2 △2
331	上 3		總蔵	存庵 186, 288			3 △3
332	上 4		茂助	存庵 115			4 △4
333	上 5		善助	存庵 86, 217			5 △5
334	下 6		忠吉	存庵 132, 202			6 △6
335	下 7		又兵衛	存庵 160, 293			7 △7
336	下 1		長作	べとろ 函 存庵 285	此八(廿?)人とうすさまエあんめんじんすと奉る		8 ▲1
337	下 2		備左衛門	存庵 210			9 ▲2
338	下 3		長七	べとろ 函 牛馬 249, 250			10 ▲3
339	下 4		彦蔵	べとろ 250			11 ▲4
340	下 5		伊蔵	存庵 251			12 ▲5
341	下 1		文蔵	べとろ 函 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000	此七八でうすさまエあんめんじんすと奉る		13 ▽1
342	下 2		与四五郎	はつた			14 ▽2
343	下 3		乙八	263			15 ▽3
344	下 4		友助	存庵 246			16 ▽4
345	下 5		亮之丞	べとろ, 22, 260			17 ▽5
346	下 6		甚吉				18 ▽6
347	下 7		傳次兵衛				19 ▽7
348	下 1		熊蔵	228へとろ, 317へとろ	五月廿五日御呼出 此九人でうすさまエあんめんじんすと奉る		○1 五月廿五日御呼出
349	下 2		磯平	せじん			○2
350	下 3		万作				○3
351	下 4		伴蔵	45 存庵, 227下			○4
352	下 5		茂吉	せじん 存庵, 1, 3, 25, 26, 27			○5
353	下 6		圓作	せじん			○6
354	下 7		傳七	22, 22, 24 女房			○7
355	下 8		甚左衛門	存庵 22, 24, 155, 155			○8
356	下 9		源三郎	べとろ 245	此七人せつたさまエあんめんじんすと奉る 左十申上少		○9
357	下 1		左十	存庵			●1 此七(二?)人
358	下 2		勝太郎	まんしよ 241			●2
359	下 3		勘七	へとろ 函 230, 230			△1 此七人で
360	下 1		弥平	へとろ 函 230, 230	此七(六?)人でうすさまエあんめんじんすと奉る		△2
361	下 2		清兵衛	集影 77, 230, 230			△3
362	下 3		民蔵	存庵			△4
363	下 4		次平	存庵, 229			△5
364	下 5		久米助	存庵, 238			△6
365	下 6		野四兵衛	存庵			△7
366	下 1		清兵衛女房	まんしよ 函 230, 230	此五人之女 本貫でうすさまエあんめんじんすと奉る		▲1 此五人之女

No.	組	追	名前	流社名風見態考等 まるや、189、297 まるや、283、300 まるや、174 まるや、242、298 寿庵 友七 寿庵、272 寿庵、273 寿庵、281 寿庵、280、271、355 寿庵、278 寿庵、280 七蔵 常蔵 寿庵、281、275、271 寿庵 伊八 源蔵	← 大江村吟味 →	← 軍國本吟味 →	→
367	下? 2	追	俣蔵女房	311、324、401、408、419、430、502、503、504、506、507a、507b、507c、508a、508b、508c、509a、509b、511a、511b、512、514、515、516、517、519、520a、520b、521、522、523a、523b、524a、524b、525a、525b、526a、526b	▲2		
368	下? 3		和平女房			▲3	
369	下? 4		平七女房			▲4	
370	下? 5		七兵衛女房			▲5	
371	下? 1		又助	五月廿六日御呼出五人之とも本尊てうささまあんめんしんと暮る			○15月廿六日御呼出五人之とも
372	下? 2		友七				○2
373	下? 3		忠平				○3
374	下? 4		宇右衛門				○4
375	下? 5		長左衛門				○5
376	下? 1		惣吉	此五(人)之とも本尊てうささまあんめんしんと暮る			●1五(六?) 及60
377	下? 2		七蔵				●2
378	下? 3		常蔵				●3
379	下? 4		万右衛門				●4
380	下? 5		伊八				●5
381	下? 6		源蔵	18寿庵下、48上、右之者再紅有之候處、無滞相済申候			○ ●6

(1) 5月4日に呼び出された、下組班百姓忠右衛門 [16] は、「アヴェ・マリアの祈り」を告白している。これは彼が述べたように祭儀に唱えられた讚美である。最初の3語「あべまるや、がらさア、べんのふ」はラテン語のAve Maria *gratia plena*「アヴェ・マリア、恵みに満ちた方」である。一方5月6日に呼び出された下組班百姓平左衛門 は、同じ「アヴェ・マリア」を告白しているが、その表題は「経消」となっている。これが「経消」という言葉がここで現れた最初であるが、島原藩の『天草吟味目録』(pp. 204-205)では、「経文の効果を消す方法は、という問いかけに、アヴェ・マリアを寺の祭儀の後に唱えてキリシタンの祈儀を行う」と、恐らくは5月3日に吉野右衛門 [25] が答えている。「経消」は島原側で作成された造語であろう。吉野右衛門 [25] は上組屋之内の水方丸山家第三代で、初代は延享4年(1747年)に大江組大庄屋となった平野(松浦)四郎兵衛とともに一町田村から大江にきた。下組桑鶴の伊八 [8] を先祖とした大江組後の水方となった山下豊七氏は丸山家からの養子である。邪宗的イメージで作られたものではなく、キリシタン片岡弥吉全集(朝野原、2014)、p. 210. 消えた言葉を復活させてはならない。アヴェ・マリアについては片岡弥吉全集(朝野原、2014)、p. 210. 文化2年7月28日からの村力吟味の高浜村分の記録の残っている。「宗門心得違物人別異名簿帳」(上田家文書)によると高浜の七兵衛なるものが、五島で大江の上組番助 [86] からキリシタンに教習されたが洗礼名はないという。五島が教導の場ということから五島や天草の村力吟味の高浜村分の記録の残っている。宗門心得違物人別異名簿帳(上田家文書)によると高浜の七兵衛なるものが、五島で大江の上組番助 [86] からキリシタンに教習されたが洗礼名はないという。

(2) 五島が教導の場ということから五島や天草の村力吟味の高浜村分の記録の残っている。宗門心得違物人別異名簿帳(上田家文書)によると高浜の七兵衛なるものが、五島で大江の上組番助 [86] からキリシタンに教習されたが洗礼名はないという。